

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日経平均株価が連日最高値 136円高、ソフトバンクG大型投資に期待

・24日の東京株式市場で日経平均株価は続伸し、前営業日比136円65銭(0.3%)高の4万5630円31銭で終え、2営業日連続で最高値を更新。米国市場でハイテク株などが下落した流れを引き継いで日本市場でも幅広い銘柄に売りが先行。米国で人工知能(AI)関連の大型投資を計画するソフトバンクグループ(SBG)が上げ幅を広げ、相場をけん引。

◆東京都、宅地開発時の電柱新設を禁止 無電柱化条例を26年にも制定

・東京都は電柱を地中に埋める無電柱化を進めるため、指定地域で新たに宅地を開発する場合の電柱新設を原則禁止する方針。2026年にも新設禁止を義務付ける条例の制定を目指す。違反した場合は事業者名の公表を検討している。宅地開発に伴う電柱新設を禁止する条例は全国初という。

◆世界3.2%成長に上方修正 25年のOECD見通し、米AI投資けん引

・経済協力開発機構(OECD)は2025年の世界の成長率が3.2%になるとの見通しを発表した。前回6月の予測から0.3ポイント上方修正した。米国の人工知能(AI)関連投資や中国の財政出動が寄与する。米関税措置については発動前に生産や貿易で駆け込み需要があった半面、負の影響はまだ完全に表れていないとの見方を示した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆中古マンションに株高波及、都心で1.7億円超え 新築は供給細る

・都心の中古マンションの価格上昇が続いている。8月の平均希望売り出し価格は東京都心6区(千代田・中央・港・新宿・文京・渋谷)で70平方メートルあたり1億7030万円と前月比2%上がり、最高値を更新した。新築物件の供給が少ないうえに、株高で資産が増えた富裕層らが高額な中古物件の購入へ動き、相場を押し上げている。

◆8月の工作機械受注9%増、米欧伸びて2カ月連続プラス

・日本工作機械工業会(日工会)が発表した8月の工作機械受注総額(確報値)は、前年同月比9%増の1201億円だった。プラスは2カ月連続。景気停滞で低迷していた欧州からの需要が回復したほか、トランプ米政権による関税政策の影響が和らぐ北米需要が伸びた。受注総額の7割を占める海外向けは12%増の882億円だった。

◆国交省、労務費基準の素案提示 住宅分野など18職種で調整続く

・国土交通省は中央建設業審議会(中建審)の「労務費の基準に関するワーキンググループ(WG)」で、改正建設業法に基づいた労務費の基準について素案をまとめた。職種分野別の「労務費の基準値」案については、型枠、鉄筋、左官、造園など6職種ではおおむね方針が固まったが、住宅分野や内装、電工を含む18職種では、現在も調整が続く。

《 注目商品 》

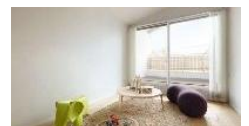
■ノーリツ、オゾン水・UV除菌搭載の給湯器「GTH-C71/70シリーズ」

・オゾン水やUVによる除菌機能を備えた高効率ガス温水暖房付ふろ給湯器。独自のオゾン水除菌ユニットAQUA OZONE(アクアオゾン)を搭載。オゾン水を流して目に見えないふる配管を除菌し、排水口にたまった水の臭いも抑制する。



■LIXIL、内窓「インプラス」に新色+浴室開き窓を追加

・リフォーム内窓「インプラス」のラインアップを拡充。居室仕様には新色の「プレシャスホワイトP」を追加。既に取替窓の「リプラス」では展開している色で、今回「インプラス」にもラインアップすることで、同一カラーによる一棟提案が可能に。



■ABC商会、サイルストーン製洗面カウンター

・天然石の風合いと優れた耐久性の人造石・サイルストーンを使った洗面カウンターシリーズ「クォーツカウンター」に新デザインを追加。天然石の美しさと高い耐汚染性・耐久性、排水金具を隠す排水プレートを備えた洗面カウンター。

